



MIYAGAWA TSUSHIN

宮川通信

2025.2
58
February

勢田川で発見！



- ◆ 第5回工事現場取材
- ◆ 建設業界で働く人に聞いてみた
- ◆ もったいないフェア
- ◆ 河川愛護モニター会議
- ◆ 出張所管内の工事実施箇所

「万能土質改良機」を活用した

工事現場をご紹介！



ご案内



X (旧Twitter)
三重河川国道事務所



ホームページ
三重河川国道事務所



川の防災情報

第5回 工事現場取材

今号では、「万能土質改良機」を活用した宮川護岸補強工事及び進入路の造設を行っている（株）西邦建設を取材しました。



「万能土質改良機」とは?
建設現場等で発生した材料として適正ではない土を、品質の良い盛土材へ作り変える機械です。

工事名：令和6年度 宮川管内堤防整備工事（玉城工区）／工事場所：たまき水辺の楽校／工事期間：令和6年10月1日～令和7年3月28日

現場取材について、本工事の現場代理人である（株）西邦建設の木下 幸大（きのした ゆきひろ）さんにご協力いただきました。（取材日：令和6年12月）

万能土質改良機の仕組み

性質の異なる土を土砂ホッパA・Bへそれぞれ投入すると、コンベアが自動で重量計量を行い、万能土質改良機へ送ります。機械内では、事前に設定した混合条件のもと攪拌（かくはん）・混合が行われ、改良された混合処理土を作り出す仕組みです。



コンベア横で除去作業を行う様子

今回集積した建設発生土は2種類あり、①多気町から運搬した粒子が細かく粘り気のある粘性土と②勢田川の掘削工事で発生した比較的粒子が大きい土です。

それぞれホッパへ分けて

投入しますが、中には玉石や流木等の異物が混入していることがあります。異物を万能土質改良機へ入れると機械内部が詰まり、正常に稼働しなくなる可能性があるため、機械手前のコンベアで作業員2名が異物を取り除く作業を行います。

異物の除去作業及び機械内部での圧縮により、搬入した土の総量約6600m³に対して、出来上がった混合処理土は約5600m³と1～2割ほど減少します。

（※あくまでも目安です）



システム検査室で監視する様子

万能土質改良機の内部の確認方法は？

万能土質改良機の内部は、建屋に配置したシステム操作室で常時監視しています。搬入した土の粒子の割合や、処理した土の状態を数値で確認できます。

仮に機械内に異物が混入して詰まった場合でも、機械が自動停止します。更に画面上に異物の位置が表示されるので、除去作業も簡単です。

引き続き安全に工事を進めてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

※なお、万能土質改良機は令和6年12月13日に撤去いたしました。令和7年1月現在、製造した混合処理土を盛土材料に護岸補強工事及び進入路の造設を行っています。



土粒子の密度試験の様子

Q 混合処理した土はすぐに盛土に使用する？

混合処理が済んだ土は、盛土材料としての品質・安全性を審査するため、第三者機関による土質試験を行います。土質試験では、土の密度や含水比（土に含まれる水分の割合）の確認、液状化又は半固化する限界指數を把握する等、計8項目の試験に基づいて土の性質を調べます。

その他、盛土作業を開始する前に、敷き均した混合処理土にロードローラーで圧力をかけて、最適な圧力度合いを調査する試験盛土も行います。



試験盛土の様子

Q 発生する可能性が高い事故は？

作業員の衣類がコンベアに巻き込まれる事故です。

他にも転倒などで機械との接触事故が発生した場合、重大な事故に繋がるおそれがあります。

事故防止のため、機械周辺はコーン等で区画して危険箇所の「見える化」を行い、作業員へ向けて定期的な重機災害に関する安全教育を行っています。



危険箇所の「見える化」対策



安全教育の様子

【建設業界で働く人】に聞いてみた

Vol.5
令和6年12月

一般に「建設業界」と聞くと、以前は3K（きつい、汚い、危険）といわれていましたが、現在は新3K（給与（の確保）、休暇（が取りやすい）、希望（が持てる））の実現に向けて多くの事業所が「働き方改革」を行うことで職場環境の改善に取り組み、若手技術者が働きやすい職場となりつつあります。

改革が進む建設業界で働く人の生の声を聞こうと、今号では（株）西邦建設で働く2名の作業員を取材しました。

建設業界に入ったきっかけは？

展示会で説明を受けた建設業の「地域貢献」と「ものづくりの楽しさ」に魅力を感じて応募しました。入社にあたり資格も必要なかったので、専門知識のない私でも気軽に応募できました。

初めは慣れない専門用語に戸惑う事もありましたが、周りの先輩方が分かりやすく教えてくれました。

日頃から気を付けていることは？

先輩の西山さんから教わった「事前準備を怠らない」ことです。

事前準備を怠ると現場作業が滞ってしまい、工事に関わる多くの人に迷惑がかかります。天候に合わせた対策や現場で発生しうる様々な危険を想定して、現場が円滑に進行するよう心がけています。

建設業界で働く「やりがい」は？

工事が完成した際に出来上がった物を見て、地元の方から感謝の言葉をいただいた時、建設業界で働く「やりがい」を感じます。技術面でも自身の成長を感じられるように、先輩たちに教わりながらこれからも精進していきます。



入社7年目
工務部所属

残業や有休の実態は？

基本的に残業は少なく、有給も取得しやすいため、連休を取って旅行に行くこともあります。働き方改革もあってプライベート時間は充実しています。

人材確保の現状は？

弊社の営業担当が工業高校等で説明会を開催していますが、工業高校であっても建設業界に興味を持つ若い方が少ないようで、次世代を担う十分な人材確保には至っていないのが現状です。

専門知識が無くても、興味・関心のある方は建設業界に来ていただければ嬉しいです。

建設業界で働く「やりがい」は？

建設業界の仕事は裏方、いわゆる泥臭い仕事ですが、自身が関わった物が完成した瞬間の感動は非常に大きいです。その出来上がった物が何十年残るとなれば感動もひとしおです。

建設業という地域を支える仕事を誇るように、少しでも地域の助けになれたらと思い励んでいます。



にしやま まさとし
西山 雅章さん
入社22年目
土木部所属



11/9

もったいないフェア

開催場所：伊勢リサイクルプラザ

伊勢広域環境組合リサイクルプラザ主催の『もったいないフェア』が秋晴れのなか開催されました。資源の再利用を促すことをテーマとしたイベントであり、宮川出張所からは刈草堆肥200袋（1袋2kg程）と桜の伐採木（約5t）の無料配布を行いました。堤防整備で発生した刈草及び伐採木を処理コスト縮減のために配布したもので、「桜の木を薪にキャンプを楽しみたい」と多くの方に喜んでいただきました。



12/18

河川愛護モニター会議

開催場所：三重河川国道事務所

三重河川国道事務所より委嘱を受けた四河川（鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川）の河川愛護モニターが一堂に集まり、日々のモニター活動で感じた河川管理の気になる点について、自由に意見交換していただきました。宮川出張所のモニター3名より、宮川の堤防脇へのポイ捨てゴミの増加や今後の堤防改修計画について発言がありました。

いただいたご意見を参考に今後も地域と連携した河川管理に努めます。ご参加ありがとうございました。

令和6年度 河川愛護モニター会議



←左から宮川左岸モニター楠さん、前田さん、右岸モニター岡田さん

宮川出張所管内の工事実施箇所

令和7年1月末時点



- ① 令和4年度 勢田川桧尻川河川整備工事
施工者：（株）森組
- ② 令和5年度 宮川管内堤防維持管理修繕工事
施工者：海老屋・西山経常建設共同企業体
- ③ 令和6年度 宮川小俣堤防整備工事
施工者：（株）山野建設
- ④ 令和6年度 宮川管内堤防整備工事
施工者：（株）西邦建設
- ⑤ 令和6年度 桧尻川排水機場機械設備整備工事
施工者：（株）クボタ
- ⑥ 令和6年度 宮川出張所維持修繕工事
施工者：海老屋・西山経常建設共同企業体
- ⑦ 令和6年度 桧尻川排水機場工事
施工者：宮本建設（株） 予定

工事で発生した伐採木の無料配布を予定しています

※令和7年1月末時点
配布場所や配布方法などが決まりましたら、
事務所HP及びX（旧Twitter）でお知らせします。
(事務所HPの掲載は「新着情報」からご確認いただけます)

お問い合わせ先

■ 国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 宮川出張所

〒516-0008 伊勢市船江1丁目11番25号

TEL : 0596-25-1018 FAX : 0596-27-6743

「宮川通信」のバックナンバーは
右QRコードよりご覧いただけます

<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

